



## 須賀川ぼたんロータリークラブ活動紹介

特別講演例会開催 5月24日(水) 12:30~14:00

講師 松川力也氏「一般社団法人 tsunagari (ツナガリ)」代表

演題 「障害は一つの強み

絶望から諦めない心、そして めぐり逢いから新たな一歩」

今回は、須賀川で昨年11月に一般社団法人「tsunagari (つながり)」を立ち上げ、障害者雇用・就労に関する情報を発信している松川力也氏を例会にお招きし、一般聴講も行いました。これからの時代に、障害者だから雇用出来ない・障害者だから就職出来ないなどは無くしていこう活動をされています。松川さんの元気な報告に我々の方が力を頂きました。下記に、新聞記事を載せましたので、ご覧ください。

会長 水上哲夫

### 阿武隈時報社 新聞記事参考

須賀川市で生まれ育った松川さんの体に異変が起きたのは中学3年の冬。自宅でご飯を食べていると口の左側から食べたものが落ちてきた。「おかしいな」。そう思い立ち上がったとたん、左半身にまったく力が入らず、床に倒れ込んだ。病院に運ばれたが、1週間意識が戻らなかった。目を覚ました後、左半身に感覚がないことがわかった。「脳動静脈奇形」という難病だった。

松川さんは現実を受け入れることができず、両親に「死に方を教えて」と頼んだ。右手だけで自殺できる方法も考えた。ただ、時間の経過とともに持ち前のポジティブ思考がわいてきた。「絶望していても状況が変わるわけじゃない。今できることを全力でやるしかない」と気持ちを切り替えた。開頭手術を3回受けた。入院中に車いすで受験した高校に合格し、午前は授業、午後はリハビリの歩行訓練を重ねた。自力で歩けるようになり、高校1年の夏には退院できた。

高校卒業後は、IT関連のスキルを高めたり、言語聴覚士の資格を取得したりした。

病院勤務や障害者の就労指導員を経て、2022年に「tsunagari」を設立。障害者向けの雇用や就職に関する情報を発信したり、オンラインの講演会を開いたりしている。当事者目線で、障害者が必要とする情報を届けている。

松川さんは、障害者のキャリアアップに関する相談や資格取得に向けたオンライン授業など手がける会社も経営する。今は須賀川と東京を行き来する忙しい毎日を送っている。活動の原動力は「障害者だから高収入は無理」と思っている当事者や社会の認識を変えたいとの思いだ。「障害があっても健常者と同じように人生の選択肢が多くあっていい。誰もが人生に再挑戦できる社会を、みんなで作っていききたい」と話している。



須賀川ぼたんロータリークラブ  
講演 例会風景



朝日新聞デジタル > 左半身まひの松川さん「障害者とつながる場」企画 10日... > 写真・図版



福島民友新聞 マイストーリー掲載記事